

第3章 くらしの満足度【問7】

1 生活重要度【問7】

身近な生活に関する48項目について、どの程度重要だと感じているかを尋ねた。項目ごとに重要度を「非常に重要である」から「まったく重要ではない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は、「非常に重要である」「かなり重要である」「どちらともいえない」「さほど重要でない」「まったく重要ではない」の5区分に「わからない」を加えた6区分とした。

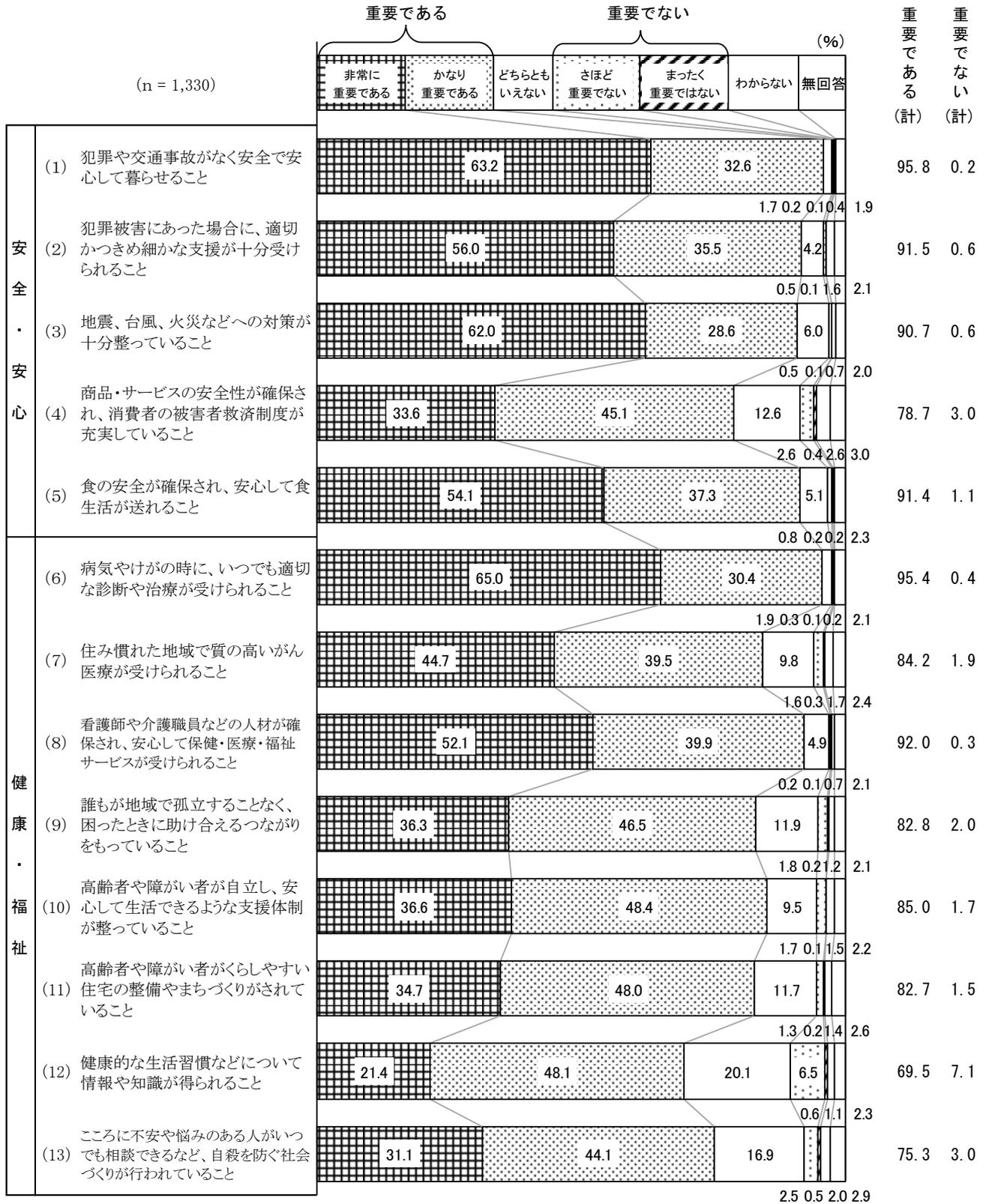
【全体の状況】

項目別の生活重要度の回答状況は、図表3-1-1に示すとおりである。

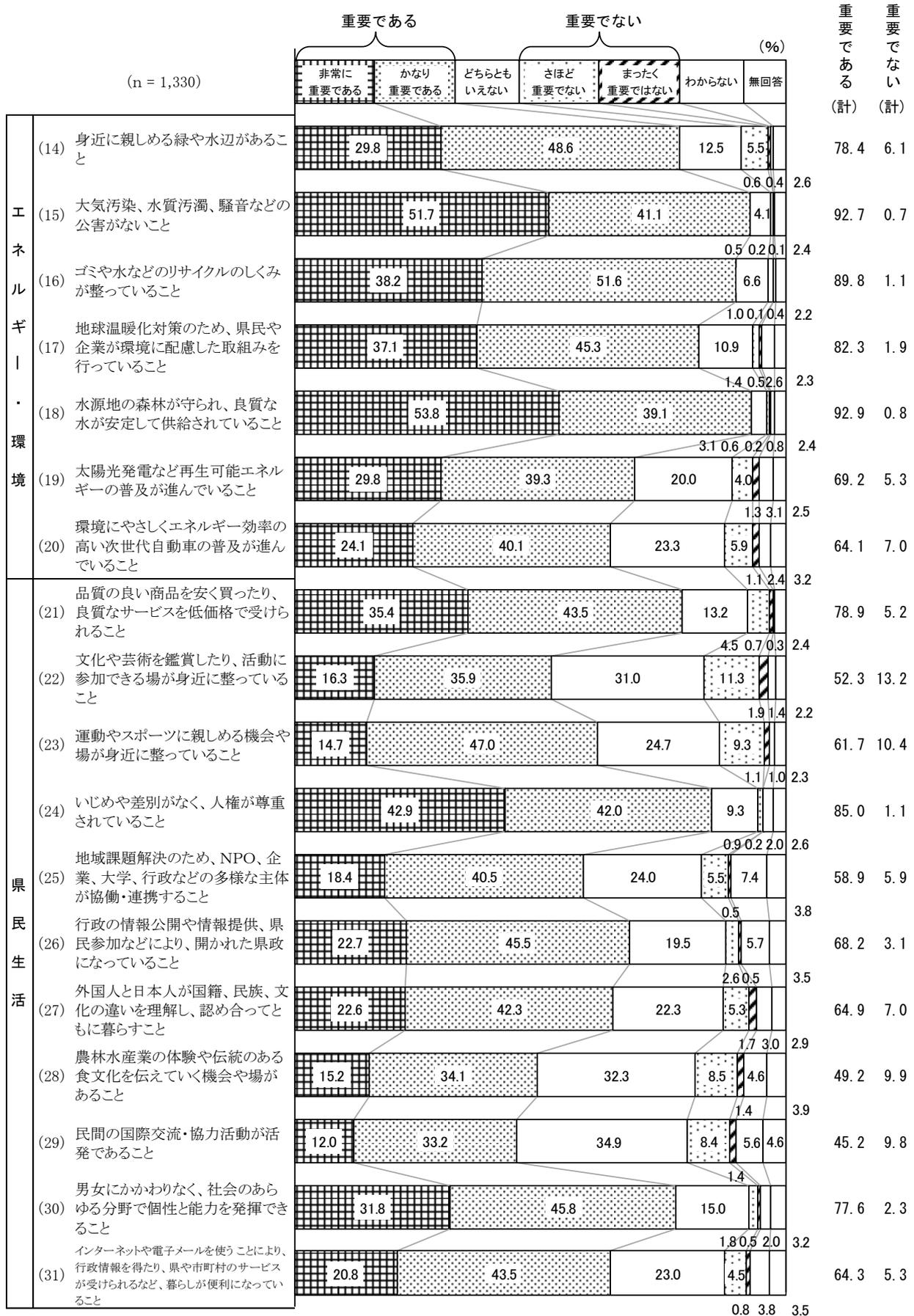
「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせた《重要である》と「さほど重要でない」と「まったく重要ではない」を合わせた《重要でない》を比較すると、すべての項目で《重要である》が《重要でない》を上回った。

《重要である》をみると、「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること」(95.8%)、「(6) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」(95.4%)、「(18) 水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること」(92.9%)、「(15) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと」(92.7%)、「(8) 看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること」(92.0%)がそれぞれ9割台が多かった。(図表3-1-1)

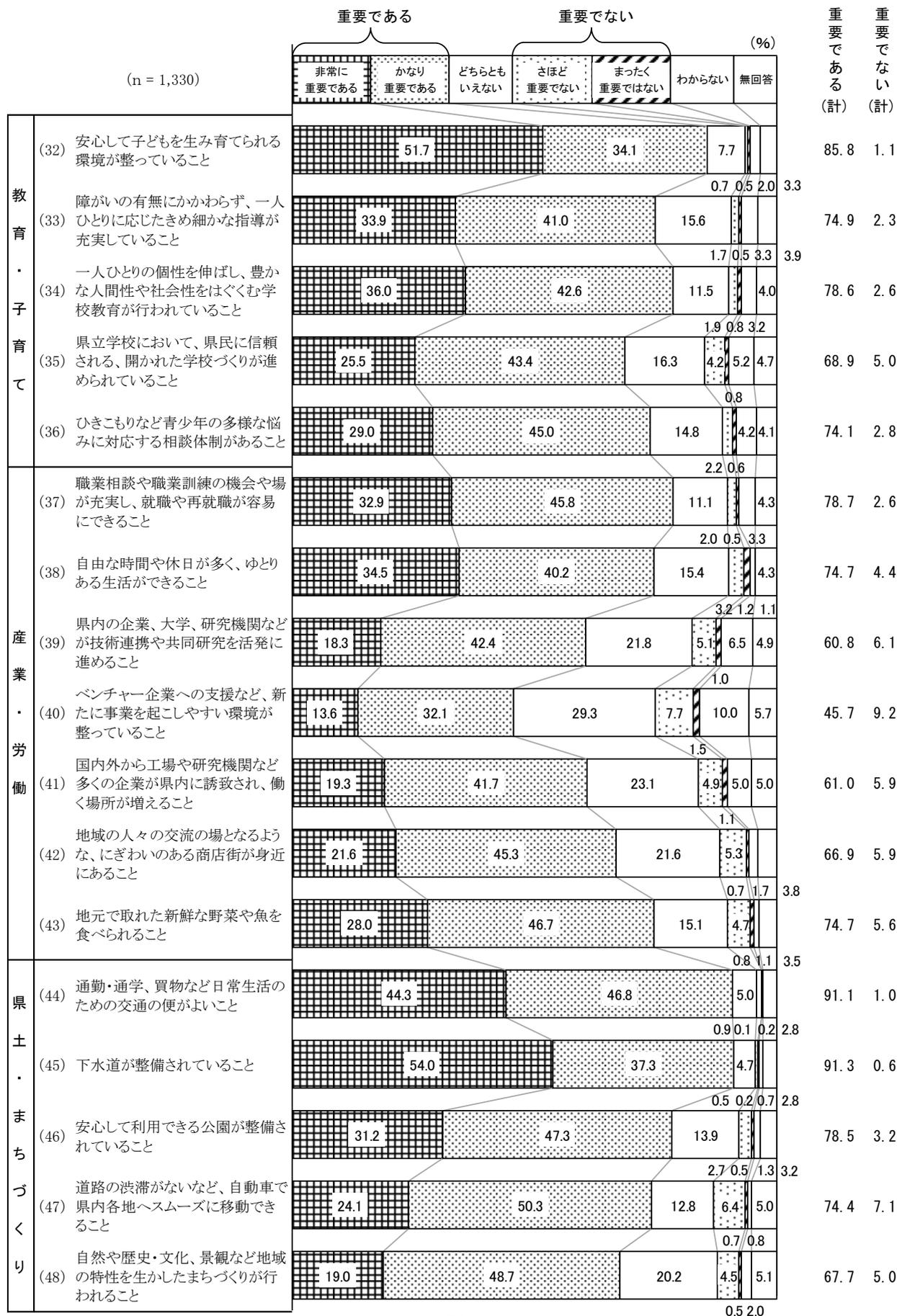
図表3-1-1 生活重要度



図表3-1-1 生活重要度（つづき）



図表3-1-1 生活重要度（つづき）



【過去との比較】

《重要である》の上位10項目について過去4年間の調査と比較すると、平成26年度～平成29年度の調査と同様に、「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること」と「(6) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」の2項目が上位となった。(図表3-1-2)

図表3-1-2 生活重要度《重要である》の上位10項目－過去との比較

	平成26年度 (n = 1,403)	平成27年度 (n = 1,386)	平成28年度 (n = 1,297)	平成29年度 (n = 1,382)	平成30年度 (n = 1,330)
1位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (96.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (96.3%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること (95.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること (94.6%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること (95.8%)
2位	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること (94.8%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること (96.0%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (94.1%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (93.8%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること (95.4%)
3位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと (92.4%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	下水道が整備されていること (91.8%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと (91.4%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (92.9%)
4位	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること (91.6%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (92.6%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること (90.8%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと (92.7%)
5位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (91.3%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (90.8%)	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること (92.0%)
6位	下水道が整備されていること (90.9%)	下水道が整備されていること (91.1%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること (90.2%)	下水道が整備されていること (90.0%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること (91.5%)
7位	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること (90.2%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること (90.7%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること (89.9%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること (91.4%)
8位	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること (89.7%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること (90.3%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (89.5%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (89.4%)	下水道が整備されていること (91.3%)
9位	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること (89.0%)	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること (90.0%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること (89.2%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること (89.2%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (91.1%)
10位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (88.9%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと (89.5%)	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること (87.8%)	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること (89.1%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること (90.7%)

※各項目の過去との比較については、図表A (119～130ページ) を参照

【地域別の状況】

《重要である》の上位5項目について地域別にみると、県全体で《重要である》の第1位となった「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること」は、県西 (97.9%)、相模原 (97.8%)、横須賀三浦 (97.3%)、湘南 (97.2%)、横浜 (96.1%) の5地域で同率も含めて第1位となった。県全体で第2位となった「(6) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」は、横須賀三浦 (97.3%)、横浜 (96.1%) で同率も含めて第1位となった。県全体で第3位の「(18) 水資地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること」は、県央 (96.6%) で第1位となった。県全体で第4位の「(15) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと」は、川崎 (95.3%) で第1位となった。(図表3-1-3)

図表3-1-3 生活重要度《重要である》の上位5項目－地域別

(番号) 設問	(1)	(6)	(18)	(15)	(8)	(2)	(5)	(45)	(44)	(3)	(16)
	地域 上段：順位 下段：(%)	し犯 て罪 暮や ら交 せ通 事故 が なく 安全 で 安心	な病 診気 断や けが 治の 療の が 受け られ つ ても 適切	が水 安源 定地 しの 森林 が 守 られ て 良 質 な 水	公大 害気 が汚 染、 水 質 汚 濁、 騒 音 な どの	祉保 サさ ーれ、 ビ、 ス安 が心 受し て保 られ る こ と 医 療 ・ 材 が 福 確	らっ き罪 め被 害に あ つ た 場 合 に、 適 切 か	生食 活の が安 全が 確 保 さ れ、 安 心 し て 食	下 水 道 が 整 備 さ れ て い る こ と	た通 め勤 の・ 交 通 学 の 買 物 な ど 日 常 生 活 の	十地 分震 つ、 台 風、 火 災 な ど へ の 対 策 が
全 体 (n=1,330)	① 95.8	② 95.4	③ 92.9	④ 92.7	⑤ 92.0	⑥ 91.5	⑦ 91.4	⑧ 91.3	⑨ 91.1	⑩ 90.7	⑪ 89.8
横 浜 (n= 512)	① 96.1	① 96.1	⑤ 92.4		④ 92.6		⑤ 92.4		③ 93.9		
川 崎 (n= 193)	④ 92.7	② 93.8	② 93.8	① 95.3				⑤ 92.2			
相 模 原 (n= 91)	① 97.8	② 95.6	③ 94.5		③ 94.5	⑤ 93.4					
横 須 賀 三 浦 (n= 110)	① 97.3	① 97.3			③ 95.5	⑤ 94.5		③ 95.5			
県 央 (n= 118)	② 95.8	③ 94.9	① 96.6	④ 92.4	⑤ 90.7			⑤ 90.7			
湘 南 (n= 213)	① 97.2	② 96.2	④ 95.3	③ 95.8							⑤ 94.4
県 西 (n= 48)	① 97.9	② 93.8		② 93.8			② 93.8			② 93.8	

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。
(県民ニーズ調査 : <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/index.html>)

【性・年代別の状況】

《重要である》の上位5項目について性・年代別にみると、サンプル数の少ない男女の18～19歳を除くと、県全体で《重要である》の第1位となった「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること」は、男性の50歳代 (97.3%)・70～74歳 (100.0%)、及び、女性の20歳代 (98.3%)・50歳代 (99.0%)・60歳代 (97.1%)・70～74歳 (98.2%) で同率も含めて第1位となった。県全体で第2位の「(6) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」は、男性の20歳代 (97.7%)・40歳代 (98.0%)・60歳以上 (95.2%) と女性の20歳代 (98.3%)・40歳代 (98.6%)・70～74歳 (98.2%)・75歳以上 (92.0%) で同率も含めて第1位となった。県全体で第3位の「(18) 水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること」は、男性の75歳以上 (94.9%) と女性の20歳代 (98.3%)・70～74歳 (98.2%) で同率も含めて第1位となり、県全体で第4位の「(15) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと」は、女性の70～74歳 (98.2%) で同率も含めて第1位となった。(図表3-1-4)

図表3-1-4 生活重要度《重要である》の上位5項目－性・年代別

(番号) 設問 地域 上段：順位 下段：(%)	(1)	(6)	(18)	(15)	(8)	(2)	(5)	(45)	(44)	(3)	(16)	(32)	(24)	(4)
	① して暮ら せること がなく安 全で安心	② な病診 断やけが の時に、 いつでも 適切な	③ が水源地 の森林が 守られ、 良質な水	④ 大気汚染 、水質汚 濁、騒音 などの	⑤ 社保サ ービスが 安心して 受けられ ること	⑥ らつきめ る細やか な支援が 十分に受 けか	⑦ 食の安全 が確保さ れ、安心 して食	⑧ 下水道が 整備され ているこ と	⑨ たための 交通の便 がよいこ と	⑩ 十分整っ ているこ と	⑪ みゴミや 水などの リサイク ルのしく	⑫ 環境が整 つていて いること	⑬ さいじめ や差別が なく、人 権が尊重	⑭ 実し ているこ と
全 体 (n=1,330)	① 95.8	② 95.4	③ 92.9	④ 92.7	⑤ 92.0	⑥ 91.5	⑦ 91.4	⑧ 91.3	⑨ 91.1	⑩ 90.7	⑪ 89.8	⑫ 85.8	⑬ 85.0	⑭ 78.7
男 性 (n= 610)	① 95.4	② 94.8	③ 93.6	③ 93.6				⑤ 91.3						
女 性 (n= 667)	① 96.7	② 96.6	⑤ 93.1		③ 93.7	③ 93.7	⑤ 93.1							
男性18～19歳 (n= 5)	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0		① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	
20歳代 (n= 43)	⑤ 93.0	① 97.7		③ 95.3		⑤ 93.0	① 97.7		③ 95.3	⑤ 93.0	⑤ 93.0			⑤ 93.0
30歳代 (n= 70)	② 94.3			② 94.3				④ 92.9	① 95.7			④ 92.9		
40歳代 (n= 100)	③ 96.0	① 98.0	⑤ 93.0	② 97.0	⑤ 93.0				③ 96.0			⑤ 93.0		
50歳代 (n= 111)	① 97.3	④ 93.7	② 94.6	④ 93.7	② 94.6									
60歳代 (n= 147)	③ 93.9	① 95.2	② 94.6	⑤ 92.5			④ 93.2							
70～74歳 (n= 55)	① 100.0	③ 94.5	② 98.2	③ 94.5			⑤ 92.7				⑤ 92.7			
75歳以上 (n= 79)	③ 93.7	④ 92.4	① 94.9				⑤ 91.1	① 94.9			⑤ 91.1			
女性18～19歳 (n= 4)	① 100.0	① 100.0		① 100.0	① 100.0	① 100.0		① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	
20歳代 (n= 58)	① 98.3	① 98.3	① 98.3		① 98.3	① 98.3							① 98.3	
30歳代 (n= 89)	② 96.6	② 96.6					④ 95.5		① 97.8	④ 95.5		④ 95.5		
40歳代 (n= 140)	② 97.9	① 98.6			③ 97.1	⑤ 96.4			⑤ 96.4	③ 97.1				
50歳代 (n= 97)	① 99.0	② 96.9		⑤ 94.8	⑤ 94.8	⑤ 94.8			③ 95.9	③ 95.9				
60歳代 (n= 136)	① 97.1	② 96.3	④ 94.9	⑤ 94.1	⑤ 94.1		③ 95.6	⑤ 94.1						
70～74歳 (n= 55)	① 98.2	① 98.2	① 98.2	① 98.2			① 98.2			① 98.2				
75歳以上 (n= 87)	② 89.7	① 92.0	⑤ 86.2		③ 87.4			③ 87.4			⑤ 86.2			

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査： <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/index.html>)

2 生活満足度【問7】

「生活重要度」で尋ねた項目と同じ48項目について、どの程度満たされていると感じているかを尋ねた。項目ごとに「十分満たされている」から「ほとんど満たされていない」まで5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は「十分満たされている」「かなり満たされている」「どちらともいえない」「あまり満たされていない」「ほとんど満たされていない」の5区分に「わからない」を加えた6区分とした。

【全体の状況】

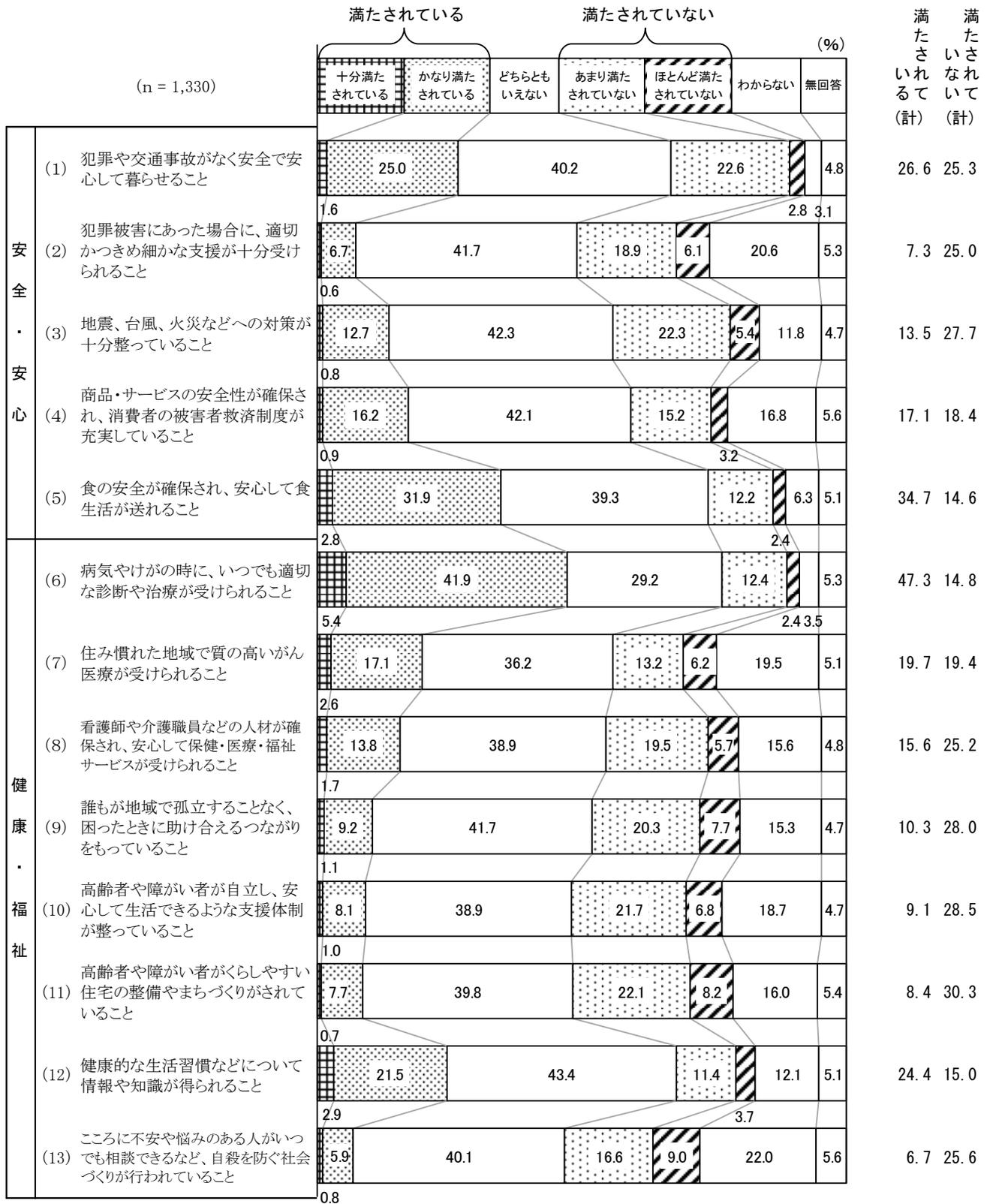
項目別の生活満足度の回答状況は、図表3-2-1に示すとおりである。

「十分満たされている」と「かなり満たされている」を合わせた《満たされている》は、「(45) 下水道が整備されていること」が68.0%で最も多く、「(44) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」(49.5%)と「(14) 身近に親しめる緑や水辺があること」(47.6%)が続いた。

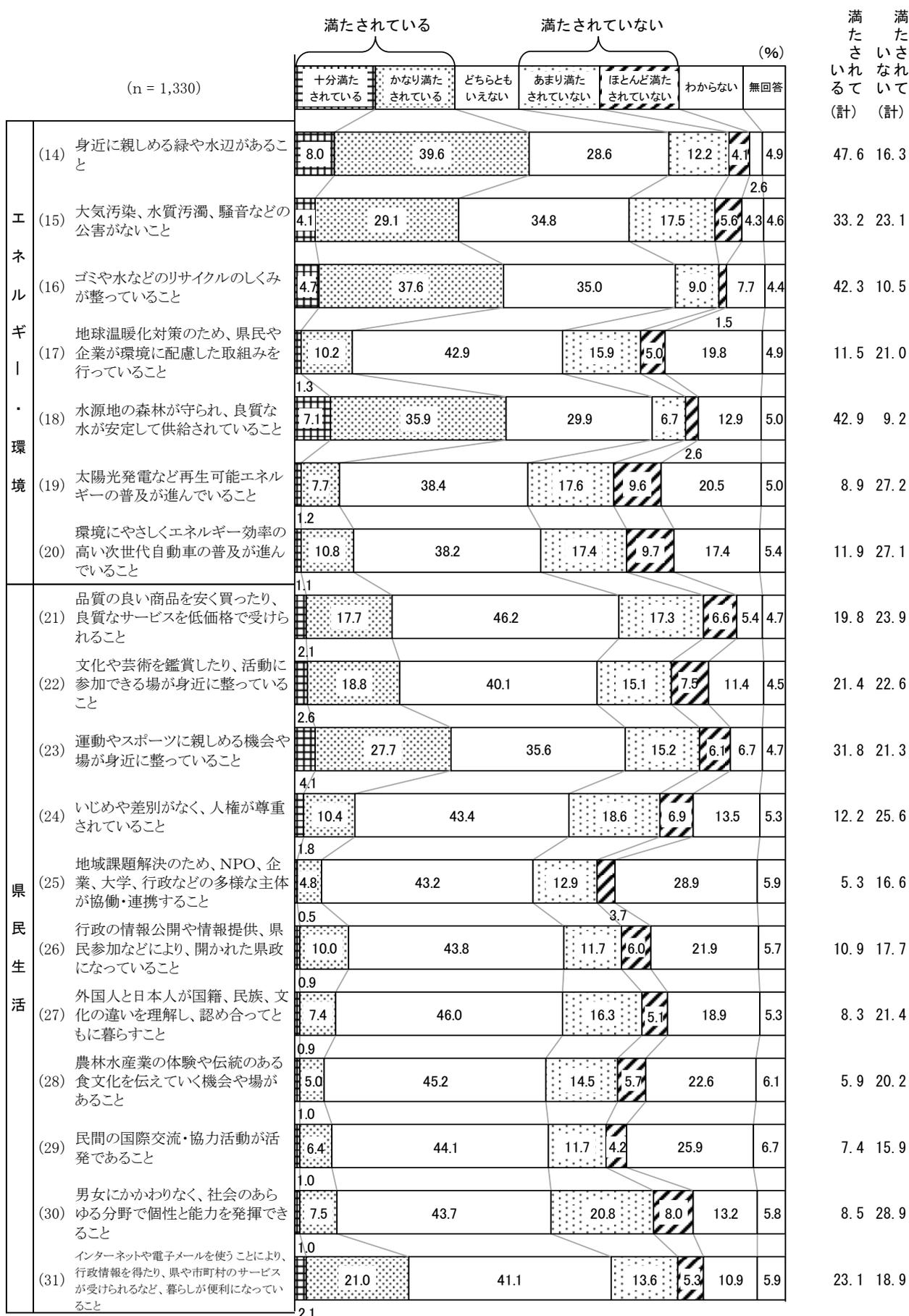
「あまり満たされていない」と「ほとんど満たされていない」を合わせた《満たされていない》は、「(42) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が40.5%で最も多く、「(38) 自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること」(33.5%)と「(47) 道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること」(33.1%)が3割台が続いた。

(図表3-2-1)

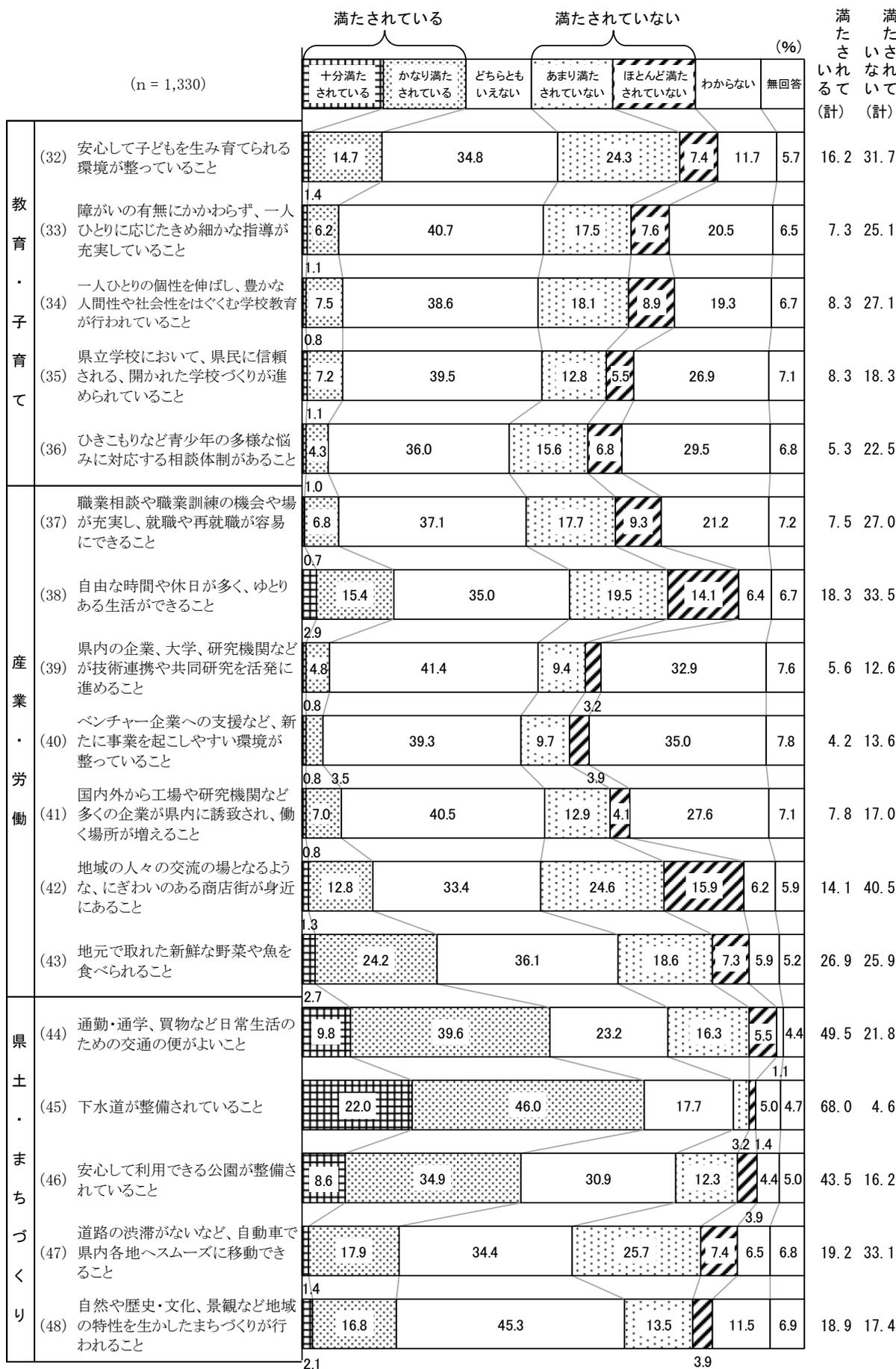
図表3-2-1 生活満足度



図表3-2-1 生活満足度（つづき）



図表3-2-1 生活満足度（つづき）



【過去との比較】

《満たされている》の上位10項目について過去4年間の調査と比較すると、平成26年度～平成29年度の調査と同様に、「(45) 下水道が整備されていること」が第1位、「(44) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」が第2位、「(14) 身近に親しめる緑や水辺があること」が第3位となった。(図表3-2-2)

図表3-2-2 生活満足度《満たされている》の上位10項目－過去との比較

	平成26年度 (n = 1,403)	平成27年度 (n = 1,386)	平成28年度 (n = 1,297)	平成29年度 (n = 1,382)	平成30年度 (n = 1,330)
1位	下水道が整備されていること(66.1%)	下水道が整備されていること(69.7%)	下水道が整備されていること(68.5%)	下水道が整備されていること(65.4%)	下水道が整備されていること(68.0%)
2位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(48.1%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(50.6%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(51.0%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(44.9%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(49.5%)
3位	身近に親しめる緑や水辺があること(47.5%)	身近に親しめる緑や水辺があること(46.8%)	身近に親しめる緑や水辺があること(47.3%)	身近に親しめる緑や水辺があること(44.1%)	身近に親しめる緑や水辺があること(47.6%)
4位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(45.3%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(44.2%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(44.3%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(42.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(47.3%)
5位	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(43.7%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(44.0%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(44.1%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(41.4%)	安心して利用できる公園が整備されていること(43.5%)
6位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(42.1%)	安心して利用できる公園が整備されていること(41.1%)	安心して利用できる公園が整備されていること(43.4%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(39.2%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(42.9%)
7位	安心して利用できる公園が整備されていること(41.6%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(40.2%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(41.6%)	安心して利用できる公園が整備されていること(39.0%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(42.3%)
8位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(32.6%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(30.4%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(34.2%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(30.9%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(34.7%)
9位	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(26.8%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(27.1%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(31.3%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(28.4%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(33.2%)
10位	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(25.3%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(26.9%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること(27.0%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(27.4%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(31.8%)

※各項目の過去との比較については、図表B（131～142ページ）を参照

《満たされていない》の上位10項目について過去4年間の調査と比較すると、平成26年度～平成29年度の調査と同様に、「(42) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が第1位となった。第2位は前回調査と同様に「(38) 自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること」となった。「(47) 道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること」は前回調査の第5位から第3位となった。(図表3-2-3)

図表3-2-3 生活満足度《満たされていない》の上位10項目－過去との比較

	平成26年度 (n = 1,403)	平成27年度 (n = 1,386)	平成28年度 (n = 1,297)	平成29年度 (n = 1,382)	平成30年度 (n = 1,330)
1位	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.7%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(43.6%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(41.9%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.9%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.5%)
2位	環境にやさしくエネルギー効率の高い、電気自動車などの次世代自動車の普及が進んでいること(36.8%)	高齢者や障害者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(38.8%)	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(33.5%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(35.0%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(33.5%)
3位	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(34.9%)	安心して子どもを生育できる環境が整っていること(37.1%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(32.8%)	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(34.7%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(33.1%)
4位	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること(33.0%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(36.4%)	安心して子どもを生育できる環境が整っていること(32.3%)	安心して子どもを生育できる環境が整っていること(33.9%)	安心して子どもを生育できる環境が整っていること(31.7%)
5位	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(32.9%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(34.6%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(31.5%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(31.8%)	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(30.3%)
6位	高齢者や障害者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(32.4%)	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもっていること(34.5%)	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること(31.3%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(31.7%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(28.9%)
7位	品質の良い商品を安く買ったり、良質なサービスを低価格で受けられること(31.6%)	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること(34.1%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(30.0%)	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもっていること(31.5%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(28.5%)
8位	高齢者や障害者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(31.3%)	高齢者や障害者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(30.0%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(30.7%)	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもっていること(28.0%)
9位	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(31.2%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(32.9%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(29.5%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(30.5%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(27.7%)
10位	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(31.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること 男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(32.8%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(29.2%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(30.2%)	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(27.2%)

※各項目の過去との比較については、図表B (131～142ページ) を参照

【地域別の状況】

《満たされている》の上位5項目について地域別にみると、県全体で《満たされている》の第1位となった「(45)下水道が整備されていること」は、全地域で第1位となった。県全体で第2位の「(44)通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」は、川崎(55.4%)と横浜(54.7%)で第2位となり、県全体で第3位の「(14)身近に親しめる緑や水辺があること」は、横須賀三浦(59.1%)、県央(53.4%)、相模原(49.5%)、湘南(47.9%)で第2位となった。(図表3-2-4)

図表3-2-4 生活満足度《満たされている》の上位5項目—地域別

(番号) 設問 地域 上段：順位 下段：(%)	(45)	(44)	(14)	(6)	(46)	(18)	(16)	(5)	(15)
	下水道が整備されていること	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと	身近に親しめる緑や水辺があること	病気の予防や治療が受けやすいこと	安心して利用できる公園	水質が良く、緑地が豊富にあること	ゴミの処理が適切に行われていること	心の安らぎが得られること	大気汚染、公害、騒音などがないこと
全体 (n=1,330)	① 68.0	② 49.5	③ 47.6	④ 47.3	⑤ 43.5	⑥ 42.9	⑦ 42.3	⑧ 34.7	⑨ 33.2
横浜 (n= 512)	① 69.7	② 54.7	⑤ 46.7	④ 48.0	③ 49.4				
川崎 (n= 193)	① 69.9	② 55.4	⑤ 40.9	③ 46.1	④ 44.0				
相模原 (n= 91)	① 60.4		② 49.5	③ 44.0	③ 44.0	③ 44.0			
横須賀三浦 (n= 110)	① 68.2		② 59.1	④ 44.5			③ 51.8		④ 44.5
県央 (n= 118)	① 61.9		② 53.4	③ 51.7		④ 47.5	⑤ 44.9		
湘南 (n= 213)	① 71.4	③ 46.9	② 47.9	③ 46.9		⑤ 46.0			
県西 (n= 48)	① 56.3	③ 47.9		④ 45.8		② 50.0	④ 45.8	④ 45.8	

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。
 (県民ニーズ調査 : <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/index.html>)

《満たされていない》の上位5項目について地域別にみると、県全体で《満たされていない》の第1位となった「(42) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」は、川崎（31.1%）を除く6地域で第1位となった。県全体で第4位の「(32) 安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること」は、川崎が34.7%で第1位となった。（図表3-2-5）

図表3-2-5 生活満足度《満たされていない》の上位5項目—地域別

設問 地域 上段：順位 下段：(%)	(42)	(38)	(47)	(32)	(11)	(30)	(10)	(9)	(3)	(19)	(20)	(37)	(43)	(1)	(8)	(21)	(15)	(22)	(44)	(23)
	とにぎわいの人々の交流の場となるようなこと	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	各地路の渋滞がないなど、自動車でも移動できること	安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること	分野で個性と能力を発揮できること	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもっていること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・福祉サービスが受けられること	品質の良い商品を安く買ったり、良質なサービスを低価格で受けられること	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること
全体 (n=1,330)	① 40.5	② 33.5	③ 33.1	④ 31.7	⑤ 30.3	⑥ 28.9	⑦ 28.5	⑧ 28.0	⑨ 27.7	⑩ 27.2	⑪ 27.1	⑬ 27.0	⑭ 25.9	⑰ 25.3	⑱ 25.2	⑲ 23.9	⑳ 23.1	㉑ 22.6	㉒ 21.8	㉓ 21.3
横浜 (n= 512)	① 38.5	② 37.1	⑤ 32.0	③ 33.8		④ 33.4							⑤ 32.0							
川崎 (n= 193)	⑤ 31.1	③ 32.1		① 34.7	② 32.6		③ 32.1	⑤ 31.1												
相模原 (n= 91)	① 39.6	④ 29.7	② 38.5					③ 31.9						④ 29.7						
横須賀三浦 (n= 110)	① 41.8	⑤ 32.7	② 35.5	③ 34.5						⑤ 32.7		④ 33.6			⑤ 32.7					
県央 (n= 118)	① 50.0	⑤ 29.7	② 40.7										③ 33.1				④ 32.2	⑤ 29.7	⑤ 29.7	
湘南 (n= 213)	① 45.5		② 39.9		④ 31.0				③ 31.5		④ 31.0									
県西 (n= 48)	① 47.9		③ 33.3									② 39.6				⑤ 31.3		③ 33.3		⑤ 31.3

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。
 (県民ニーズ調査：http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/index.html)

【性・年代別の状況】

《満たされている》の上位5項目について性・年代別にみると、県全体で第1位となった「(45) 下水道が整備されていること」は、すべての性・年代で第1位となった。(図表3-2-6)

図表3-2-6 生活満足度《満たされている》の上位5項目－性・年代別

(番号)	(45)	(44)	(14)	(6)	(46)	(18)	(16)	(5)
	下水道が整備されていること	の通勤・通学、通の買物などがよい日常生活	こ身近に親しめる緑や水辺がある	と切な診断やが治療時に、受けられることも適	さ安心して利用できる公園が整備	と水源地の森林が守られ、良質な	くゴミや水などのリサイクルのし	食の安全が確保され、安心して
設問								
性・年代								
上段：順位								
下段：(%)								
全体 (n=1,330)	① 68.0	② 49.5	③ 47.6	④ 47.3	⑤ 43.5	⑥ 42.9	⑦ 42.3	⑧ 34.7
男性 (n= 610)	① 67.2	④ 46.4	③ 47.5	② 48.0		⑤ 45.7		
女性 (n= 667)	① 69.0	② 53.2	③ 47.5	④ 46.5	⑤ 43.8	⑦ 40.5	⑥ 41.8	⑨ 33.3
男性18～19歳 (n= 5)	① 80.0			③ 60.0	③ 60.0			③ 60.0
20歳代 (n= 43)	① 62.8		② 58.1	② 58.1	⑥ 51.2	④ 53.5		④ 53.5
30歳代 (n= 70)	① 70.0	④ 50.0	④ 50.0	② 52.9	③ 51.4			
40歳代 (n= 100)	① 67.0	③ 47.0	② 51.0	⑤ 45.0	④ 46.0	⑥ 43.0	⑦ 38.0	⑨ 33.0
50歳代 (n= 111)	① 64.0	② 48.6	④ 46.8			③ 47.7	⑤ 43.2	
60歳代 (n= 147)	① 69.4	② 46.9		③ 43.5	③ 43.5		③ 43.5	
70～74歳 (n= 55)	① 65.5	④ 45.5		② 54.5		③ 50.9	⑤ 43.6	
75歳以上 (n= 79)	① 68.4		④ 53.2	③ 57.0		② 58.2		⑤ 48.1
女性18～19歳 (n= 4)	① 75.0	① 75.0	⑤ 50.0	⑤ 50.0	⑤ 50.0	⑤ 50.0	⑤ 50.0	⑤ 50.0
20歳代 (n= 58)	① 63.8	② 56.9		④ 50.0		⑤ 48.3		③ 53.4
30歳代 (n= 89)	① 64.0	② 50.6	④ 48.3	⑤ 39.3	② 50.6		⑤ 39.3	
40歳代 (n= 140)	① 64.3	③ 52.9	② 55.7	④ 50.0	⑤ 42.1		⑤ 42.1	
50歳代 (n= 97)	① 67.0	② 56.7	③ 49.5	④ 44.3	⑤ 43.3			
60歳代 (n= 136)	① 69.1	② 50.7	③ 42.6	③ 42.6		⑤ 41.9		
70～74歳 (n= 55)	① 87.3	③ 50.9		② 56.4		④ 49.1	④ 49.1	
75歳以上 (n= 87)	① 75.9	② 55.2		⑤ 48.3	⑤ 48.3	③ 51.7	③ 51.7	

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。
(県民ニーズ調査 : <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/index.html>)

《満たされていない》の上位5項目について性・年代別にみると、サンプル数の少ない男女の18～19歳を除くと、県全体で《満たされていない》の第1位となった「(42) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」は、男性の50歳代(42.3%)・70～74歳(41.8%)・75歳以上(35.4%)と女性の40歳代(39.3%)・女性の50歳代(38.1%)・女性の60歳代(39.0%)・70～74歳(38.2%)・75歳以上(35.6%)で第1位となった。県全体で第2位の「(38) 自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること」は、男性の20歳代(51.2%)・40歳代(55.0%)と女性の30歳代(43.8%)で同率も含めて第1位となった。県全体で第3位の「(47) 道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること」は、男性の20歳代(51.2%)・30歳代(48.6%)で同率も含めて第1位となった。県全体で第4位の「(32) 安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること」は、女性の20歳代(58.6%)・30歳代(43.8%)で同率も含めて第1位となった。県全体で第10位の「(19) 太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること」は、男性の60歳代(40.1%)で第1位となった。(図表3-2-7)

図表3-2-7 生活満足度《満たされていない》の上位5項目－性・年代別

(番号) 設問	(42)	(38)	(47)	(32)	(11)	(30)	(10)	(9)	(3)	(19)	(20)	(37)	(43)	(13)	(24)	(1)	(8)	(33)	(2)	(22)	(44)
	地域の商店街が身近にあること	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	道路の渋滞がないこと	安心して子どもを育てられる環境が整っていること	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもっていること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること	ここに不安や悩みのある人がいつでも相談できること、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること	障がいのある無にかかわらず、一人ひとりに応じた支援が十分に受けられること	犯罪被害にあつた場合に、適切かつきめ細やかな支援が十分に受けられること	文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること
全体 (n=1,330)	① 40.5	② 33.5	③ 33.1	④ 31.7	⑤ 30.3	⑥ 28.9	⑦ 28.5	⑧ 28.0	⑨ 27.7	⑩ 27.2	⑪ 27.1	⑬ 27.0	⑭ 25.9	⑮ 25.6	⑯ 25.6	⑰ 25.3	⑱ 25.2	⑲ 25.1	⑳ 25.0	㉑ 22.6	㉒ 21.8
男性 (n= 610)	① 41.8	③ 34.9	② 39.7	⑤ 32.3						③ 34.9											
女性 (n= 667)	① 39.0	② 32.1	⑤ 28.9	③ 31.0	④ 29.1																
男性18～19歳 (n= 5)	① 80.0	① 80.0		① 80.0						① 80.0			① 80.0								
20歳代 (n= 43)	③ 44.2	① 51.2	① 51.2	④ 41.9															④ 41.9		
30歳代 (n= 70)	③ 44.3	② 45.7	① 48.6	④ 41.4										④ 41.4							
40歳代 (n= 100)	③ 45.0	① 55.0	② 47.0	④ 33.0						④ 33.0	④ 33.0										
50歳代 (n= 111)	① 42.3	③ 32.4	② 37.8		⑤ 30.6											⑤ 30.6				③ 32.4	
60歳代 (n= 147)	② 39.5		⑤ 36.1	⑤ 36.1	③ 38.1					① 40.1	③ 38.1										
70～74歳 (n= 55)	① 41.8		② 40.0						③ 38.2	③ 38.2										③ 38.2	
75歳以上 (n= 79)	① 35.4		⑤ 27.8				⑤ 27.8	② 31.6	② 31.6	② 31.6	⑤ 27.8										⑤ 27.8
女性18～19歳 (n= 4)					① 50.0	① 50.0	① 50.0	① 50.0		① 50.0						① 50.0					
20歳代 (n= 58)	④ 43.1	⑤ 41.4		① 58.6		② 50.0														③ 46.6	
30歳代 (n= 89)	③ 41.6	① 43.8	④ 36.0	① 43.8										⑤ 32.6							
40歳代 (n= 140)	① 39.3	② 37.9	④ 31.4		③ 32.1		④ 31.4														
50歳代 (n= 97)	① 38.1	② 34.0			③ 33.0		④ 32.0										⑤ 30.9				
60歳代 (n= 136)	① 39.0					③ 28.7			③ 28.7		② 29.4	⑤ 27.2									
70～74歳 (n= 55)	① 38.2				④ 29.1				② 32.7			④ 29.1					③ 30.9				
75歳以上 (n= 87)	① 35.6								③ 33.3					④ 31.0					④ 31.0		② 34.5

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査 : <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/index.html>)